



1. 第22回全国大会・開催のご連絡（2014年11月15日（土）、東京大学 山上会館）

2014年11月15日（土）、東京大学 山上会館（〒113-8654 東京都文京区本郷 7-3-1）にて、第22回全国大会が開催されます。ふるってご参加の程、お願い申し上げます。統一テーマは「次世代メディアと情報文化」です。以下、大会プログラムとなります。ご確認ください。

<受付開始> 9:30～ 大会議室（2階）脇

- ◆ 大会参加費：5,000円（一般会員）、3,000円（学生会員）
- ◆ 交流会費：5,000円（一般会員）、3,000円（学生会員）

<開会式> 10:00～10:10 大会議室（2階） 挨拶：大会実行委員長/会長 須藤 修

<午前セッション>

◆ 第1セッション「情報科学」（会場：201・202, 10:00-12:10） \*各発表：20分（発表15分、質疑5分）

座長：樺島榮一郎（相模女子大学）、編集委員：辻本篤（北海道大学）

発表代表者 （発表者）	所属（発表者所属）	発表題目
岡谷大	法政大学	情報と文化の一試論ーホワイトヘッドの思想からー
高橋浩	北陸先端科学技術大学院大学	“新しい機械の時代”と情報文化
大井奈美	東京大学大学院情報学環	情報文化と情報学の通時的比較——ネオ・サイバネティクスを中心として
前田康雄	北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院	「開発・情報文化空間」の概念モデル

◆ 第2セッション「人文科学」（会場：203, 10:10-12:10） \*各発表：20分（発表15分、質疑5分）

座長：吉田友敬（名古屋文理大学）、編集委員：大久保博樹（駿河台大学）

発表代表者 （発表者）	所属（発表者所属）	発表題目
----------------	-----------	------

佐野昌己	文教大学	古民家デジタルアーカイブ構築に関する考察(その3)
櫻井広幸	立正大学心理学部	ネガティブ評価項目を用いた、超臨場感テレワークサブシステムに対するラダーリング
加藤福己	名古屋大学大学院	観光イベント参加者のためのガイドアプリの提案～オープンデータを用いたい市民主体のアプリ開発～
平澤洋一	広島大学	情報文化空間と第3の現実

◆ 第3セッション「社会システム」(会場: 001, 10:10-12:10) \*各発表: 20分(発表15分, 質疑5分)

座長: 長田攻一(早稲田大学), 編集委員: 稲垣秀人(城西国際大学)

発表代表者 (発表者)	所属(発表者所属)	発表題目
福浦友香	北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院	ソーシャル・ファブ리케이션と「創造コミュニティ」-生産消費者に注目して-
小田島瑞希	岩手県立大学大学院ソフトウェア情報学研究科	地域コミュニティを対象とした口述記録活用方法
田畑恒平	江戸川大学メディアコミュニケーション学部	情報メディアリード型地域活性化-マイナスのインパクトに関する一考察-
符儒徳	東京女学館大学国際教養学部	インターネット・マネジメントの環境構造-情報文化と社会文化的なアプローチ-

<昼食・役員会> 12:10~13:10 (役員会は、会場 201・202 にて開催)

<基調講演> 13:10~13:50 大会議室(2階)

- ・講師: 落合 洋文(名古屋文理大学 教授)
- ・講演テーマ: 世界認識におけるメディアとモデルの役割

<贈賞式> 13:50~14:30 大会議室(2階)

## <午後セッション>

### ◆第4セッション「経済・経営」(会場: 201・202, 14:30-16:10) \*各発表: 20分(発表15分, 質疑5分)

座長: 亀谷祥治(对外経済貿易大学), 編集委員: 松永公廣(名古屋学院大学)

発表代表者 (発表者)	所属(発表者所属)	発表題目
亀谷祥治	对外経済貿易大学	ファイナンスにおける審査手法及び経営大学院における手法による情報の非対称性の軽減に関する理論と実証に関する一考察
村館靖之	東京大学大学院情報学環	情報量概念を用いたマクロ経済分析
加藤綾子	文教大学情報学部	生産消費者の制作物を享受する消費者の増加に関する仮説構造的考察

### ◆第5セッション「公共・行政」(会場: 203, 14:30-16:10) \*各発表: 20分(発表15分, 質疑5分)

座長: 遠山茂樹(高知大学), 編集委員: 竹野健夫(岩手県立大学)

発表代表者 (発表者)	所属(発表者所属)	発表題目
古坂正人	東京工科大学メディア学部	行政運営システムの進展に関する情報文化学的考察
本田正美	東京大学大学院情報学環	公共サービス電子化の基盤整備とオープンガバメントの推進
洪井二三男	城西大学	臨床検査技師養成のための医用工学実験のWeb化と可視化の試み
齋藤長行	青山学院大学ヒューマンイノベーション 研究センター	人間発達の生態学からみるインターネット上の青少年保護

### ◆第6セッション「情報システム」(会場: 001, 14:30-16:10) \*各発表: 20分(発表15分, 質疑5分)

座長: 菅原光政(岩手県立大学), 編集委員: 堀川三好(岩手県立大学)

発表代表者 (発表者)	所属(発表者所属)	発表題目
高橋朋矢	名古屋大学情報文化学部	ICTを用いた地域支援者のための情報活用環境の設計
松永公廣	名古屋学院大学	日本農業の現代的課題—ICT活用を中心に—

立野貴之	松陰大学	ビジネスゲームにおけるタブレット端末の利用に関する分析
------	------	-----------------------------

◆（午後セッション終了後） ディスカッション「情報文化学」に向けて」を開催予定（会場：大会議室（2階），16：20-16：40）

<総会> 16時40分～16時50分 大会議室（2階）

<交流会> 17時～19時 レストラン・ハーモニー（山上会館・地階）

## 2. 『情報文化学会誌』への論文投稿について

### ◆締切日

各巻第1号への投稿：3月15日（消印有効）

各巻第2号への投稿：7月10日（消印有効）

### ◆送付先

(1) デジタル論文を投稿する場合

[joubun@sd.soft.iwate-pu.ac.jp](mailto:joubun@sd.soft.iwate-pu.ac.jp)

(2) 印刷論文を郵送する場合

〒020-0193 岩手県岩手郡滝沢村滝沢字巣子 152-52 岩手県立大学ソフトウェア情報学部 菅原光政研究室

\* 詳細は、学会ホームページ（<http://www.jouhou-bunka.jp/journal/tokokitei130514.pdf>）をご参照ください。

## 3. 「JIGS 便り」名誉会長 片方 善治

### <2014年度 全国大会へのメッセージ>

本学会の2014年度全国大会は、11月15日（土）に東京大学山上会館で開催されます。統一テーマは「次世代メディアと情報文化」ですが、自由テーマの発表も大歓迎です。会員の皆さんが多数参加されることを、心から希望しています。

次世代であろうと現世代であろうと、本学会がメディアに取り組む原点は情報文化です。発表の内容は自由ですが、メディアがもたらす利点と限界を冷静に把握し、社会にはメディアが伝える以外のことや、異なる物の見方が存在するということの理解に立つ、情報文化についての思考を重ねることも重要です。

情報文化学会は、活動の目標をゴールデン・トライアングルとして示し、その構築は、①“新しいパラダイムの追及”，②“知的コミュニティの形成”，③“価値創造”への挑戦、によってなされるとしています。この目標は、会員の皆さんの意欲によって実現されていくことはいまでもありません。全国大会に参加して、会員同士が出会い・ふれあい・語り合うことによって、目標が達成されていきます。全国大会へのご参加を心から祈念しています。